

～ シンコー食産 新商品開発プロジェクト ～

活動の様子



大学HPより転載



大学HPより転載



大学HPより転載

企画・活動概要

シンコー食産(奈良・斑鳩市)とお菓子の共同開発に取り組んだ。奈良県・斑鳩市の工場及びカフェを見学し、当該企業役員からの説明を受けた。その後、学生のアイデア出しを行い、中間プレゼンを実施し、2案について製造段階へ進むこととなった(アドバイザー2名)。学園祭では販売ブースと共に2商品について試食アンケートを実施し、得られたデータは商品のブラッシュアップに活用した。最終プレゼンではブランドイメージや販促方法についても提案(アドバイザー2名)。



大学HPより転載

経緯・背景・目的

本学卒業生である吉岡氏が家族で経営するシンコー食産株式会社のヒット商品「バスタデボン」に続くヒット商品を開発すべく、ゼミで商品開発に取り組むこととなった。多彩な品ぞろえが求められるスナック菓子の分野において消費者の興味と関心を引き付けるお菓子のアイデアを出し、実行可能なマーケティングプランに落とし込み、市場導入を目指す。



大学HPより転載

取り組む課題

製造過程、調達可能な素材を理解したうえで消費者ニーズにマッチする新商品を考案する。



大学HPより転載

本学(学生)の役割

学生は自分たちの感性と市場の環境への理解をうまくミックスして実現可能なプランを考案することを求められた。また、2月14～16日のスーパーマーケットレードショーではゼミ生19名が参加し、シンコー食産と共に完成した商品の試食提供とバイヤーへの紹介を実施。次年度以降、シンコー食産のインターネットショップにおいて販売予定。



大学HPより転載

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

このプロジェクトを通じて、主にインターネット上で販売されているシンコー食産の商品に関する知識が深まり、新たな商品をブランド構築の観点からも考案することができた。製造工程を見学することにより、食品製造の難しさや面白さにも触れた。パッケージデザインやSNSを活用した販促促進策を検討する際には、学生らしい感性を活かしながら既存のビジネス環境に適合した実施案を提案できた。



大学HPより転載

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
准教授
後藤こず恵(ゴトウコズエ)
＜専門・担当科目等＞
ブランド戦略論 マーケティングリサーチ

ブランド戦略におけるシンボルと聴覚的要素の関係について研究している

<関係者・企業等>

シンコー食産株式会社
営業部課長
吉岡礼成(ヨシオカアヤナリ)

奈良県斑鳩市においてお菓子を製造・販売しているサクッとカフェおよびファッジコンシェルジェ(オンラインショップ)を運営